

地上部病害に対するキュウリ品種の耐病性比較（追補）

宮城県農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

キュウリの地上部に発生する重要病害の褐斑病，うどんこ病及びべと病を対象に，県内で作付けされているハウス用主要品種の耐病性については，普及に移す技術第89号（普及情報）で示した。今回，他のハウス用主要品種について評価したので，普及情報（追補）とする。

2 普及情報

- 1) うどんこ病については，特に「千夏」で発生が少なく，次いで，「アドニスK」での耐病性が高い（図1）。
- 2) べと病については，褐斑病，うどんこ病ほど明確な品種間差は認められないが，「千夏」，「極光607」及び「ハイグリーン21」で発生が少なく，耐病性が高い（図1）。
- 3) 褐斑病については，「結実」で最も発生が少なく，次いで，「極光607」，「ズバリ163」，「プロジェクトX」，「アドニスK」及び「セレクトI」で発生が少なく，耐病性が高い（図1）。

3 利活用の留意点

- 1) 本試験は，自根栽培及び台木に「ゆうゆう一輝（黒）」を用いている。台木品種によっては，異なる発生状況になる可能性もある。
- 2) 本試験は，うどんこ病及びべと病は中発生，褐斑病は少発生条件下での試験である。
- 3) 本試験の耐病性評価は，試験で用いた9品種間での比較である。
- 4) 病気に強いとされている品種でも病害発生を十分に抑えることができない場合もあるため，殺菌剤を併用する。
- 5) 試験に用いた品種の供給元及び供給元による各病害に対する耐病性評価は以下のとおりである（表1）。

表1 試験に用いた品種の供給元及び供給元による各病害に対する耐病性評価

品 種	供給元	供給元による耐病性評価*
ズバリ163	ときわ研究場	(病害に関する記載なし)
プロジェクトX		(病害に関する記載なし)
アドニスk		うどんこ病及び褐斑病耐病性でべと病の発生も少ない(薬剤散布が軽減)
シルフィーパー1号	久留米原種	耐病性に優れる(褐斑病に強い)
セレクトI		耐病性品種(褐斑病に極めて強く，べと病及びうどんこ病は他品種と同等)
結実637	埼玉原種	(病害に関する記載なし)
ハイグリーン21		(病害に関する記載なし)
極光607		褐斑病に極めて強く，べと病，うどんこ病にも比較的強い
千夏	中原採種場	うどんこ病，べと病に特に強く，他の病気にもかなり強い

※種子袋裏書き又はメーカーホームページより抜粋

(問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所 園芸環境部 電話 022-383-8125)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

キュウリ主要病害に対する環境負荷軽減を考慮した総合的防除技術の確立（平成24～26年度）

2) 参考データ

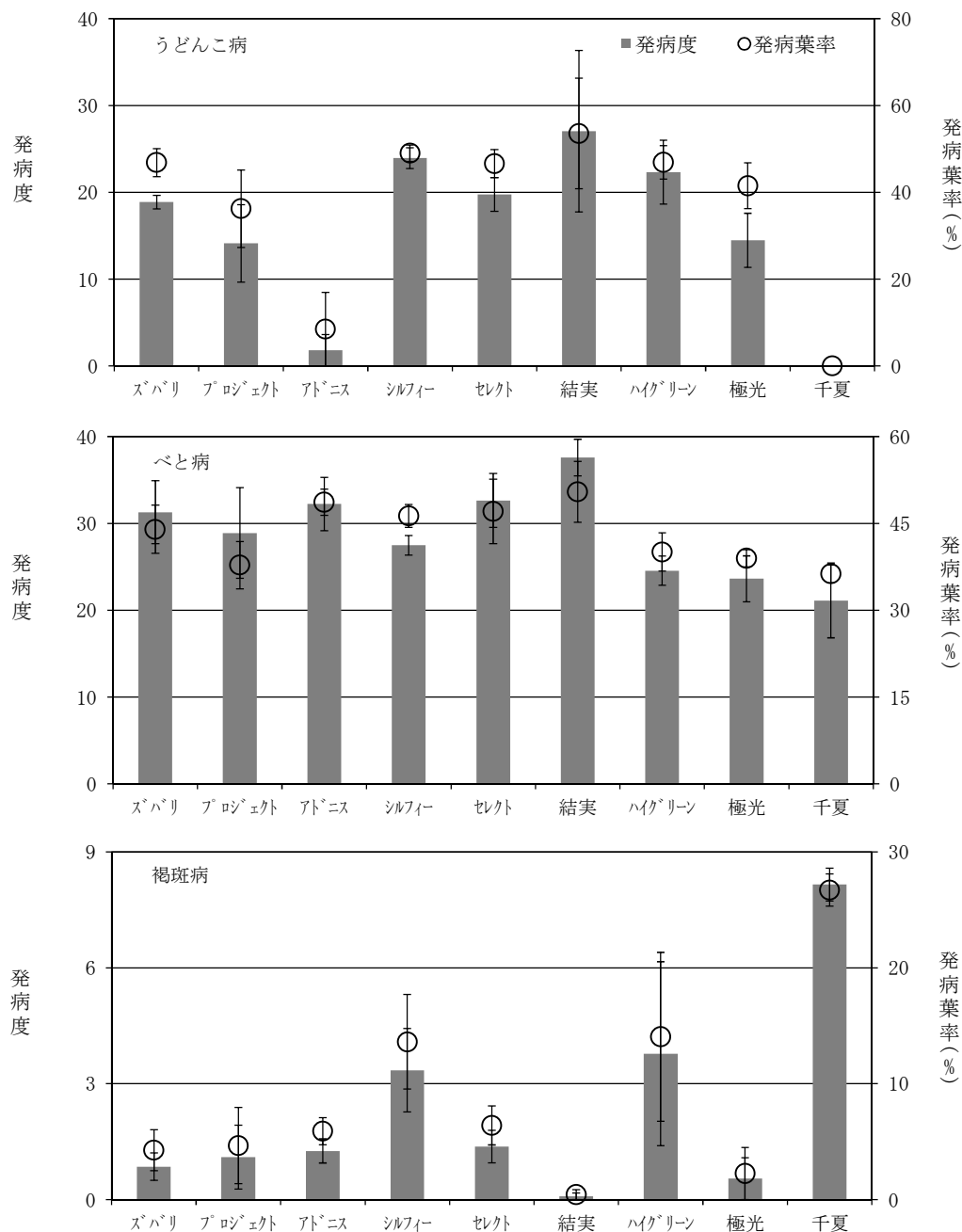


図1 各品種の病害発生状況（平成26年，パイプハウス）

（うどんこ病及びべと病試験：殺菌剤無散布）

播種：5月8日 接木：5月15日(台木：ゆうゆう一輝(黒)) 定植：5月29日 発病調査：6月26日

（褐斑病試験：うどんこ病及びべと病に対する殺菌剤散布実施）

播種：8月6日 接木：8月12日(台木：ゆうゆう一輝(黒)) 定植：8月25日 発病調査：10月9日

(品種)ズバリ：ズバリ163, プロジェクト：プロジェクトX, アトニス：アトニスk, シルフィー：シルフィーパワー1号,

セレクト：セレクトI, 結実：結実637, ハイグリーン：ハイグリーン21, 極光：極光607

3) 発表論文等

a 関連する普及に移す技術

地上部病害に対するキュウリ品種の耐病性比較（第89号普及情報）

4) 共同研究機関 なし